

クラス番号	649	担当教員名	天池 洋介
テーマ	若者の仕事を考える ー新しい労働スタイルを若者の手でー		
著書・論文 研究課題等	研究課題：労働組合における学習活動と産業別労働組合のあり方について 労働文化の形成、とくに若者による内発的なコミュニティ作り		

ゼミナール概要

キーワード：仕事、労働、就職活動、労働組合、若者、ポップカルチャー、共同、社会的起業

<目的>

終身雇用制度が大きく揺らいで、同時に若者を中心にバイトや派遣などの非正規雇用が急速に広がっています。低賃金で劣悪な雇用条件で働く若者たちはどのように生活し、どのように社会に向き合えばよいのか、考えます。

メディアで流される多くの論調は、「若者が情けない」論か、「若者がかわいそうだ」論ばかりで、若者の外側から見た「上から目線」のものばかりです。対策も「どうやって若者を管理するか」か、「どうやって若者を助けてやるか」といったものばかりで、そこには若者の姿も思いもありません。悲惨な仕事を無理やりやらせるブラック企業も、イマイチ役に立たない「若者サポート」も、私たち若者が声を上げなければ変わっていかないのです。しかし、どうやって声を上げ、何をしたらいいのでしょうか。このゼミでは、それを一緒に考えます。

<内容>

まずは、①仕事や労働についての基礎知識、労働市場（就職活動）、労働現場の現状、労働法、労働組合について、を文献資料を使って学習します。あわせて、若者の文化やポップカルチャーについても学び、私たちには何ができ、そしてどのように働き、どのように生活したらいいのか、討論をしながら考察します。平行して、②基礎的技能の習得をします。本の読み方、資料の調べ方、文章の書き方、討論の仕方、マルチメディア機器の使い方を学びます。特に討論の仕方については、しっかりと身に着けます。

基本的な知識や技能が身についたら、③フィールドワークに出かけます。就職活動の現場や、実際の職場、労働組合、社会的起業家など、各自が興味のある分野の取材をします。そして、④アウトプットをしてもらいます。3年次はフィールドワークのレポートとして、簡単な映像作品を作成してもらう予定です（設備環境によっては応相談）。4年次は卒業論文を書きます。

<方法>

グループ・ディスカッションとグループ作業が中心です。自主学習と共同作業を両輪として進めていきます。

フィールドワークでは、その分野の人の内面に迫ってもらいますので、いろいろな人と円滑にコミュニケーションをとれる力を鍛えます。

本ゼミの研究対象は皆さん自身、もしくは皆さんの日常生活です。何気なく過ごしている日々を理論的・客観的にとらえ、問題を抽出していきます。

マルチメディア、特にスマートフォンを活用して、わかりやすいアウトプットを作成します。

担当教員からのメッセージ



エントリーシートには、仕事に対するイメージや思い、好きな音楽やファッション、マンガなどについて、その理由も含めて書いてください。

質問があったら、gsnqm319@yahoo.co.jp までメールを送ってください。

ゼミ合宿については、ゼミが始まったらみんなで話し合いたいと思います。

「楽なゼミ」ではなく、「楽しいゼミ」にしたいと思っています。いろんな人と話し合い、学びあい、共感しあって、クオリティの高いものを作り上げていく。そんな楽しい経験を自信に変えて、社会に乗り込んでもらいたいです。